

■一般社団法人 Karatsu Film Project 令和1年度事業報告書■

(令和元年10月1日～令和2年3月31日)

事業趣旨

唐津に22年ぶりに復活した映画館「THEATER ENYA (シアター・エンヤ)」の活動を通して、唐津の文化芸術の振興、予防福祉や文化教育の機会の提供、及び、交流人口増加などの地域活性化に資することを目的としている。

事業内容

① 映画館「THEATER ENYA (シアター・エンヤ)」運営事業

令和元年10月25日オープン。

話題の新作やアート系の作品、旧作など老若男女が楽しめる映画を毎日上映。

期間中43作品を上映し、来場者は約2,500名であった。

② ファミリー層に向けての特集上映

事業内容：親子で映画を楽しみ、且つ、映画館で映画を観る楽しさを実感して頂くために企画。

◎冬休みファミリー作品特集

上映作品：『ひつじのショーン UFO フィーバー！』

上映期間：令和元年12月13日～令和2年1月13日

来場者：約230名

③ ティーン舞台挨拶企画

事業内容：映画製作に携わった関係者のティーンを開催することで、映画の素晴らしさや面白さを身近に感じて頂く。

◎映画『花筐／HANAGATAMI』ティーン舞台挨拶

シアター・エンヤのこけら落としとして、唐津古里映画『花筐／HANAGATAMI』の竹内美術監督ご夫妻によるティーンを実施。

開催日：令和元年10月20日(金)

来場者：約40名。

◎映画『作兵衛さんと日本を掘る』ティーン舞台挨拶

熊谷博子監督をお迎えしてティーンを実施。

開催日：令和元年12月1日(日)

来場者：約30名。

※3月に2件のティーン舞台挨拶を開催予定だったが、コロナ禍の影響により中止となった。